

## 阪神新地域ビジョンの実現に向けたシナリオ（たたき台）

### 1 自分らしいスタイルが実現できるまち

NO	シナリオタイトル	現状	中間像への取組	中間像	将来像に向けて	めざしたい姿（将来像）
①	地域と趣味としごとが重なる暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク環境が不十分</li> <li>・企業の勤務条件・形態が柔軟な働き方がしやすいように対応できていない</li> <li>・地域活動に参加する企業人が不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモートワーク等で柔軟な働き方を促すしくみ・支援</li> <li>・地域活動に参加しやすい情報発信</li> <li>・企業や行政のガイドライン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルワークや地域活動を重ねることができる柔軟な働き方、生活スタイル</li> <li>・仕事のスキルを地域に活かす働き方をする人が多くなる</li> <li>・企業理念で地域貢献や社員と地域の関わりがうたわれる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・複業、テレワークが普通になり地域活動や趣味を楽しむ</li> <li>・趣味や地域活動が複業・副業にも活かせる働き方が広がる</li> <li>・誰でも様々なテーマを共有、つながる場となる「シェアタウン」がある</li> </ul>
②	いつでもどこでも誰でもできる学び直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの大学等高等教育機関や多数の学習講座</li> <li>・地域、大学等でいろいろな世代の人が学び直しできていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業人も受講しやすい学習講座</li> <li>・学び直しを活用できる機会づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や大学等で多様な学び直し、生涯学習の講座がある</li> <li>・様々な立場、年齢の人が自由に学んでいる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも、いつからでも学位をとっている</li> <li>・誰もが生涯学習講座のリーダー、講師になって学びあい教えあっている</li> </ul>
③	身近な起業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業にチャレンジするハードルが高い（失敗の生活不安・経済的懸念）</li> <li>・起業セミナー等きっかけの場の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールモデル情報発信や起業セミナーの充実</li> <li>・大学との連携</li> <li>・小中高校生の起業体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国・世界をめざす起業にチャレンジする人が増える</li> <li>・コミュニティビジネスで起業する人が増えている</li> <li>・再チャレンジできる環境ができています</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界進出をにらんだスタートアップ企業が生まれている</li> <li>・コミュニティビジネスが地域に普及し、地域を支える産業になっている</li> </ul>
④	地域をひらくシニア・女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の育児参加が進まず。性別役割分担意識が解消せず女性登用に課題</li> <li>・意欲あるシニアの能力が地域に十分つなげられていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児介護等休暇取得の促進</li> <li>・男性の育児・介護参加促進の仕組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲、能力あるシニアの地域とのマッチングがすすむ</li> <li>・女性の管理職比率が向上、多様な分野でリーダーに</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲あるシニアが地域や企業で普通に能力を発揮している</li> <li>・社会、企業での女性リーダーが普通に能力を発揮し男女共同参画社会になっている</li> </ul>
⑤	いつからでもスキルアップでしごとにチャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人がスキルを学び直せる機会が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人向け高度な専門的知識を習得する機会の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業人のスキルアップ講座が普及</li> <li>・複業、転職、起業が不利にならない環境になっている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルアップ講座で身につけた力で複業、起業、転職が自由になっている</li> </ul>
⑥	みんなで楽しむスポーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山でのスポーツ活動への関心の高まり</li> <li>・世代や障害を超えて一緒に楽しめる活動が不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な場でのスポーツ体験機会の提供</li> <li>・スポーツに興味を持つ人の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・密を回避した自然を体感するサイクルスポーツや里山スポーツが盛んになる</li> <li>・世代や障害を超えて楽しむ新スポーツが開発される</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・eスポーツや超人スポーツなど世代や障がいを超えて一緒に楽しむ新スポーツが普及</li> <li>・サイクルスポーツやトレイルランが里山スポーツで人気に</li> </ul>

## 2 自然、歴史、文化が息づくまち、人を育てるまち

NO	シナリオタイトル	現状	中間像への取組	中間像	将来像に向けて	めざしたい姿（将来像）
⑦	再発見で魅了する阪神間モダニズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神間モダニズムが地域で十分に知られていない</li> <li>モダニズム資源の継承保存が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神間モダニズムを再発見、創造して、子どもから大人まで認知を拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神間モダニズムの価値・意義が広く認知されている</li> <li>住民が地域に愛着を持つ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>モダニズム建築などVRなども活かして保存継承され活用されている</li> <li>モダニズムのアートイベントが話題になり人気を呼ぶ</li> </ul>
⑧	次代につなぐ里山の風景	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本一とも称される北摂里山の存在</li> <li>里山の暮らしぶりの継承が困難に</li> <li>里山保全の担い手不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>獣害対策としてのジビエ利用の促進</li> <li>AI や ICT 活用で保全活動の省力化</li> <li>里山保全の意義の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>里山への意識が高まり保全活動が広がる</li> <li>保全と両立する里山での活動に関心が高まる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>エドヒガン桜、台場クヌギはじめ里山が美しく保存継承されている</li> <li>菊炭や原木椎茸など里山の産物の人気が高まり事業が成り立っている</li> </ul>
⑨	みんなが憩うなぎさ回廊	<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神なぎさ回廊の整備</li> <li>尼崎21世紀の森</li> <li>西宮浜、南芦屋浜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海岸部の親水空間が知られるようになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海岸部の親水空間が人々の憩いの場、レクリエーションの場として賑わう</li> <li>運河空間の親水空間としての活用が進む</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>都市近郊海岸リゾート空間として再生</li> </ul>
⑩	花と緑と水辺がつくる安らぎ空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>武庫川桜回廊、いなな桜並木道、夙川、芦屋川など桜の名所</li> <li>花や緑、水辺空間として人気の河川、都市公園が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑の散策路、並木道等の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花や緑の周遊散策路が充実する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>武庫川桜回廊が花・緑の回廊として国内外からも高い人気</li> <li>桜、新緑、紅葉など季節を問わず人が訪れる景観・環境が地域で守られ、高い人気</li> </ul>
⑪	次代に継がれるふるさと阪神	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験学習やイベントなどで多世代交流を体験する機会が少ない</li> <li>地元の歴史文化をはじめ地域のことを知る機会が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元学の開催</li> <li>地域での自然体験や世代交流の機会</li> <li>子どもたちが原体験を得られる機会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の子どものをはじめ誰もが地元を学び知る機会・講座が充実し関心が高まっている</li> <li>学校、大学が地域と一緒に何かをする機会としくみがある</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>住む人、出身者が地域をよく知り、自信と誇り（シビックプライド）が醸成されている</li> <li>出身者が関係者を増やし交流する人口を増やしている</li> </ul>
⑫	地域で循環するエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>ため池やバイオマス資源など再生エネルギーの可能性</li> <li>省エネルギー意識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>里山でエネルギー地産地消の取組が始まる</li> <li>都市のエネルギー効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギー普及による供給源の分散化が進む</li> <li>都市のエネルギー使用の効率化、省力化がさらに進む</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギーの地産地消が進み、脱炭素社会になっている</li> </ul>

### 3 みんながつながるやさしいまち

NO	シナリオタイトル	現状	中間像への取組	中間像	将来像に向けて	めざしたい姿（将来像）
⑬	子どもの元気と世代を超えてつながるニュータウン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュータウンから若者層の流出が続く</li> <li>・エリア内外を結ぶ公共交通機関の確保が困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が住みたいような住まいづくり</li> <li>・公共交通網の再整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郊外の住環境を好む若者世帯が転入</li> <li>・地域づくりに若者が意思決定段階から参画</li> <li>・世代交流の賑わいができる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リノベーションで若者にも人気の居住空間がひろがる</li> <li>・新たな住民が移住し「シェアタウン」を形成</li> </ul>
⑭	おせっかいがお節介でなくなる子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に知り合いがいないと保育が孤立化</li> <li>・子育てを保育や教育現場に依存</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTや大学の連携による面識に関わりない保育支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT活用で気軽に情報交換や相談ができるバーチャル家族のしくみ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代がつながる地域のおせっかいのしくみ</li> <li>・IT活用のネットワークで地縁がなくても新たな縁をつくり子育て支援</li> </ul>
⑮	いきいき健康100年人生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル予防の取組</li> <li>・認知症カフェ</li> <li>・いきいき健康体操や盛んな健康教室・講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防体操などに取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用の遠隔診断・医療が導入されている</li> <li>・健康寿命の延伸で生涯社会参加・活動が普通になる</li> <li>・パワーアシストスーツなど活動を支える技術開発が進む</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが生涯現役で趣味、仕事、地域活動などいきいきと取り組んでいる</li> <li>・検診体制や健康づくり活動の充実で健康が守られている</li> </ul>
⑯	みんなで助ける防災減災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフ巨大地震の近い将来発生の懸念</li> <li>・異常気象による集中豪雨で河川氾濫や土砂災害の危機</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層への防災の啓発</li> <li>・学校での防災教育</li> <li>・地域での災害弱者の個別避難計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害弱者を地域で助けて避難できるしくみができている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハード整備で一定規模の災害を防ぐとともに、コミュニティでの助け合い避難ができて災害発生時にも人命が守られている</li> </ul>
⑰	あなたも私も多文化共生の仲間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジア、南米等世界各国から技能実習等観光以外で暮らす人の増加</li> <li>・自分と異なる文化の人との積極的な交流が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育、意識啓発、交流事業による地域の多文化理解促進</li> <li>・外国人への日本の生活習慣理解促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動翻訳で会話での言語問題はほぼ解決している</li> <li>・まちなかで外国人の存在が自然になっている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティに新たな地域文化と交流を生み出している</li> <li>・外国人県民の自己実現の場が商店街や空家を活用してできている</li> </ul>
⑱	家族のように支え合う地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加できるコミュニティがわかりにくく新しく参加することが難しい</li> <li>・地域の集まりが希薄化、活動が減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助けがほしい人と助けたい人をつなげるしくみづくり</li> <li>・一体感や助け合い機運を醸成するイベント等の取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている人と地域をつなぐマッチングアプリで支え合うしくみができる</li> <li>・年齢、障がいの有無にかかわらず生活し自由に出かけることができる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者、高齢者・認知症の方も住みやすいユニバーサル社会</li> <li>・オンライン、オフライン問わず意思疎通が可能</li> <li>・地域内で安否が確認できる</li> </ul>

#### 4 にぎわいのあるまち

NO	シナリオタイトル	現状	中間像への取組	中間像	将来像に向けて	めざしたい姿（将来像）
⑱	アートが人を呼びひろがる交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多彩な特色あるアートイベント、舞台芸術</li> <li>・多種多様な特色あるホール、美術館、博物館</li> <li>・文化資源やイベントの認知不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営資金を確保するしくみづくり</li> <li>・先駆的なアートイベントを開催できる土壌づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽、舞台芸術、美術などの様々なイベントが日常的に催され、多くの人が参加して賑わい、交流している</li> <li>・VR等で阪神間のアートが話題を呼んでいる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アートの魅力でクリエイターが集まり起業している</li> <li>・x Rで阪神間のアートイベントが世界と交流し多くの人を引き寄せている</li> </ul>
⑳	何度でも来たいと思う阪神ツーリズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本遺産、多彩な公園、歴史伝統資源の多彩さ</li> <li>・地域資源がストーリーとしてアピールできておらず認知、話題不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を磨き直し、ストーリー性をあげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西の人が日常的に遊び、憩うマイクロツーリズムが普及</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンドも増え、国内外からの観光の注目地になる</li> </ul>
㉑	みんなが満足する美味しい食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人気の高い阪神間のスイーツ、数多い人気の飲食店</li> <li>・認知度の低い阪神産食材</li> <li>・農業継承者の不足と荒廃農地の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就農希望者と農地を気軽に組み合わせるしくみづくり</li> <li>・阪神産食材の発信力強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阪神産食材の人气が高まり、産業としての就農希望者が増える</li> <li>・生産量が確保され域内の多くの店で阪神間食材を扱う</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・阪神産食材がブランドとして確立、農業参入者が増えて稼げる産業になる</li> <li>・食のまち・阪神として人气が高まる</li> </ul>
㉒	どこでもらくらく移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達している公共交通網と利用率低迷による維持困難や空白地帯の存在</li> <li>・自動運転、カーシェアなどの新しい交通手段の誕生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの使いやすい運行</li> <li>・公共交通機関での自動運転導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか、里山を自由に移動でき、どこでも暮らしやすくなりわいが成り立つ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動運転で高齢者、障がい者でも地域を自由に移動できる</li> <li>・域内移動が盛んになり交流人口が増加する</li> </ul>
㉓	いろんな使い方でにぎわいをつくる空間利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規制等で空家・空地・公園等都市空間が有効に活用されていない</li> <li>・都市空間を活用する担い手不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンクやリノベーションで活用促進</li> <li>・公共空間の柔軟な利用を可能にする規制緩和</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共建築をはじめ使われなくなった施設がリノベーションで活用されている</li> <li>・道路や公園等のオープンスペースを活用するしくみができる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・空地・空家をリノベーションや再整備で活用した賑わいや交流の拠点が生まれている</li> <li>・公共のオープンスペースが柔軟に活用されて人が集まる、楽しむしかけが広がっている</li> </ul>
㉔	若者が元気を生み出す地域産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画・設計等クリエイティブの仕事やスタートアップベンチャーが少ない</li> <li>・空き店舗活用が進まない</li> <li>・地域企業の事業承継が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人情報の地域での集約</li> <li>・地域での企業間人材交流の促進</li> <li>・企業・人材マッチング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材交流が進み、地域内外の人が域内企業の事業に参加</li> <li>・空店舗を意欲ある若者等が活用、商店街がビジネス拠点に</li> <li>・地域企業と結びついたクリエイティブのスタートアップ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産業、地域の中小企業が持続的に発展する社会となる</li> <li>・特色ある企業の存在価値が高まり、雇用の場が確保される</li> <li>・若者が地域企業と結びついて新しいビジネスを起こす</li> </ul>

